

～後期開始～秋だし、思慮深い日々を過ごそうよ～

今年度も後半です。この機会に再度、進路選択のための課題に取り組んでいるか確認してください。

もし、日常の雑事に精一杯になっていたとしたら、振り返し点をまわった今、自分の進路を見つめ直してください。そして、新たな気持ちで後期の学校生活に臨みましょう。

今回は、**ある年の先輩たちの生の声**を紹介します。どんな日々を過ごしていたのか、自分自身と照らし合わせて、生活姿勢や進路目標を見直す参考にしてください。そして、自分の今の思いを文章にしてみるのもいいですよ～。

先輩たちの「このごろ思ふこと～2年・3年のつぶやき～」

「眠れない・・・」

このごろ、というか結構前からなのだが、夜眠れない。中学3年の夏に始まって、高校に入ったら治まったと思っていたらまた今年の夏ごろから眠れない。布団にもぐって一度寝ても、すぐに目が覚めてしまうのだ。しかもなぜかすぐ喉が渴いている。水かジュースを飲んで眠ろうとするが、また眠れない。しばらくして寝たかと思うとすぐに起きてまた喉が渴いている。ひどい時には、これが一晩で10回くらいある。または4時ごろまで眠れない時もある。これはかなり疲れがたまる。何かいい方法はないかなあ。(2年)

「無力な自分に喝！」

今日、図書館でちらっと読んだ本にすごく衝撃を受けた。「今どきの海外協力」。実際に協力活動をした人たちの体験記みたいなやつだったんですが、まだ二人分くらいしか読んでない。でも、二人とも「協力しに」行ったというより「学びに」行った感じだったという。現地の人たちは、日本人の想像も及ばぬくらいパワフルで、ちゃんとその土地を把握していて、みな一生懸命で、日本からやってきたよそ者のボンボンには入る余地もないという。この人は、ずっと農業を勉強してきたのだが、教えることなどどうしてできようか、と言っていた。教わることばかりだと。そもそも向こうの人からすれば、協力という「いいこと」をしに来た日本人は迷惑にさえなっているようです。先進国として現地の人々を引っ張るでなく。そしたら協力隊なんて必要ないんじゃないの!? まだ全部読み終わる前にこんなことというのはアレかもしれないけど、悲しすぎ! このむなしさは何でしょう・・・こんな事いわれたんじゃ、農学部に行く気もそりや失せますよ。外国語学部行っちゃおうかな。出しゃばって農業教えたいなんて言わないから、それでも、やっぱり何かそんな、緑や発展途上国に関わることがしたいと思う。生物の時間、熱帯雨林は一度切り開かれると二度と再生しないのに、毎年香川県と同じ面積が焼畑や輸出のための伐採で失われていると習いました。伐採はやめなければならないけど、そこに住む人たちは生きるためにやっていることだから、それもやっぱりやめることはできない。でもやめなければ森はどんどん無くなり、いろんな生物が絶滅してしまう。魔のサイクルにはまってしまう。止めなければ! 先進国として、いえ、その前に一人の人間として何ができる? 何をしている? 何もしていない。数学の課題すらこなせない。きっと何一つ救うことなどできやしない! そんなことを延々と考えていつも泣きたくなる。ていうか泣く。無力。(2年)

「○○先生の魅力」

あと2ヶ月で3年生になります。受験の波に果たしてうまく乗れるのでしょうか。○○先生の話を知ると、いつもハッとさせられます。やらねば! という気持ちになるのです。心にしんみりきて、妙に説得力があるのは何故でしょう。それは彼のキャラクター故だと思います。古典の時間は爆笑することも多く、みんな彼のことが大好きなのだと思います。彼の話術は巧みで、押したり引いたりが上手です。きっと自分では意識していないのでしょう。そこがまた聞く人を引きつけるのです。でも、彼は廊下ですれ違ってあいさつをする時、私の目を見ず、どこかずっと遠くを見て、ただ口を動かしているだけのようでした。まさに、心ここにあらず。少し寂しくなりましたが、きっと照れ屋なんだろうと自分に言い聞かせ、毎時間、楽しく古典の授業を受けています。(2年1月)

「頑張る自分が好き」

このごろ思うことは、自分に自信を持つことの偉大さです。2年までの私は、目標を持たず、1日をただのんびりと過ごすという生活を送っていました。学習を完全になめていた私は、いつの間にか自分の誇りみたいなものを失っていました。だけど、3年に入って私は目標を持つきっかけに会い、久しぶりに「頑張る」という感覚を取り戻しました。懸命に学習に取り組むことで、自分の可能性を見つけることができました。私はまだまだ志望大学への合格ラインとはかけ離れています。それでも頑張っている今の私がとても好きです。昨日、友達と一緒に私の家で勉強しました。私は今、この辛い時期を共に頑張っている友達を一生大切にしたい。一緒に目標を持って励んでいる友達も私の誇りです。私は、学習によって今までになく色々なものを学んでいるような気がする。この居心地の良い(たまには辛いけど)波に乗って、実力が発揮できる日を楽しみに待ちたいと思う。(3年)

「文学って最高！」

最近、現社の授業を受けたり、本(「ソフィーの世界」2回目)を読んだりして、やっぱり私は人文学を学びたいなあと思った。哲学って奥深いけど、意外と身近なもので、昔の哲学者の考えたことも面白い。そんなことを考える人間は、すごく不思議な生き物だ。私は本を読むのが好きだ。小説の中の主人公は、場面ごとにいろんな事を考える。普段、友達の心の中なんてのぞけないのに、本の登場人物の考えていることはしっかりと伝わってくる。これはたぶん、私が本を好きな理由の一つ。本の中にすっぽり浸かっていろんな世界を見ることが出来る。作家はすごい。人間業とは思えない！そういうわけで、私は文学科に進みたい。(3年)

「感謝の気持ちを神宮へ」

先日、僕の一つの夢が叶った。慶應義塾大学に合格することができた。幼い頃、テレビで早慶戦を見た。自分もあの舞台に立ちたいと思うようになった。神宮球場を埋める大観衆の中でプレーしたいと思った。そして今、それを実現するチャンスを得た。絶対に早慶戦のマウンドに立ってやる！！大学合格に至るまで、とても多くの人にお世話になった。その人たちのことを思うと、どんなに眠いときでも精神的にきつい時でも、自分に妥協することなく頑張ることができた。日本のAO入試では最難関とも言われる入試を突破することは、自分一人では絶対に無理だった。本当にいろいろな人のお世話になった。そんな人達への恩返しの意味も込めて、大学で活躍する姿を見せたいと思う。会津の☆になります。(3年)

「時間・留学・受験 ～前向きな選択～」

最近よく考えるのは「時間」。3年生になってから、めまぐるしく時は過ぎ、今に至る。1ヶ月が、1週間が、1日がとても早く過ぎる。きっと充実しているからだと思う。今、やるべき事がたくさんある。1日のウチにどれだけできるか、毎日自分の中で戦いだ。もう一つ、なぜ私は留学を選んだのか。時々寂しくなる。みんなと一緒に受験頑張って、好きな人がいる日本で、大学で、楽しんだ方が楽な気がする。でもそれは、本当に望んでいる事じゃない。あくまで自分を甘やかした考えだ。楽だと思いう方に流されたいけど、それではいつまで経っても自分に自信を持てる人間になれない。今の私は受験勉強がないだけ楽なのかもしれないが、アメリカに行ったら、今のみんなに負けにくいぐらい勉強する。たくさん悩み苦しみ、努力して、楽しんで、大きくなって日本に帰ってきたい。楽しみだ。(3年)

.....

必読！ **そもそも「進路目標」とは？**

「大体、行きたい大学が決まってないから成績が伸びないんだ。」

「目標を定めろ、目標を。目標のある人間はどんどん伸びる。」

「何かやりたいこととか得意なことはないのか。」

「とりあえず、文系か理系かぐらいは分かるだろ。あとは大学行ってから考えろ。」

「とにかく学校休まずに楽しく過ごせばいい。部活だけは辞めないでちゃんとやれ。」

「浪人はダメだ。全部落ちたら働け。」

あらら～、みんなの困惑した顔が浮かんできますね～。目標も道筋も明確な一部の人以上なら、このうちの一つぐらいは親や担任に言われた経験があるでしょう。その後どんな展開になるか(なったか)は置いて、みんなが迷いに迷う「進路目標」とは、そもそも何なのかを考察してみよう。

「**進路目標**」→ 別な言葉で言い換えれば、「生き方」「生きがい」「人生観・価値観」等になるのだろうか。他にもありそうだ。ところがこの進路目標は、狭い意味での「希望職種」「志望大学」などと捉えられることが多い。本来なら、「約80年(残り60年)の人生をどう生きるか」を長期的展望に立って考えるべきなのに、ついつい数字や体裁にとらわれて目先の進学や就職を「目標」と思ってしまう。そしてそのために勉強しなさいと言われる。もちろん、高校生の段階ではそういう短期的な目標でもいいのかもしれない。しかし……

読売ジャイアンツ桑田真澄投手は「世界平和のために」野球に取り組んだ。高校入学時に理事長先生から「君は世界平和のために野球をやりなさい。君のプレーが世の中の多くの人に幸福と感動を与えるように。」と言われたことを心に刻んだまま。

現代は「個性尊重」の時代。「個性尊重」ってどういうことでしょうか？自分のために生きる？野球のうまい人は野球で金儲けして贅沢する？それが進路目標？え～～～っ！違～～～うっ！！会津高校生なら、**社会(世界平和と人類の幸福)のために自分をどう生かすか**をテーマに進路目標を定めて欲しいもの。

「あれ～、ますます目標設定しにくくなってしまった。」と嘆いているみんな。朗報です。「こ・じ・つ・け」しましょう。どんな職業でも、たとえば家庭の主婦であっても、それが周囲の人々の幸福につながるのなら、家庭の平和→地域社会の平和→日本の平和→世界の平和に貢献していることになると考えられるでしょう。ある卒業生の起業家は話してくれました。

———「成功だけを求めて幸福を求めない人はいない。」